

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	再発・転移頭頸部癌に対して免疫チェックポイント阻害薬の投与を行った症例に対する後方視的研究
	研究対象者	頭頸部癌と診断された患者さんのうち、2017 年 3 月 1 日から 2025 年 7 月 17 日の間に神奈川県立がんセンターでオプジーボもしくはキイトルーダの投与による治療を受けられた方
	研究目的	再発・転移をきたした頭頸部癌に対して免疫チェックポイント阻害薬であるオプジーボ、キイトルーダが使用できるようになり、臨床の現場でもその有効性が報告され、現在は標準的な治療となりました。しかし、まだデータは少なく、施設ごとの成績にもばらつきがあります。どういう患者さんに有効性や副作用がやすいかも十分にわかっていません。そこでこの研究では、神奈川県立がんセンターにおいて上記治療を受けた患者さんの過去のデータを使用し、有効性と安全性を評価して今後の課題を見つけること、そしてそれらにかかわりそうな要素を解析検討することで有効性と副作用を予測する因子を見つけることを目的としています。
	研究方法	これまでの診療録（カルテ）から、年齢や病名といった患者さんご本人や病気に関するデータ、採血や画像検査の結果、治療に関する各種期間、そして有効性や副作用に関するデータを集め、解析を行います。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 7 月 2 8 日 ～ 西 暦 2 0 3 0 年 7 月 1 7 日
	利用又は提供を開始する時期	[✓]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
	利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料: []血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____) [✓]情報: [✓]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[✓]年齢、[] 生年月日、[✓]性別、[✓]既往歴、[✓]併存疾患、[✓]外来日・入院日・退院日、[✓]臨床検査値、[✓]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[✓]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] ゲノムデータ、[]看護記録、[] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	頭頸部外科 松木 崇
	その他の機関	なし
	共同研究機関および責任者	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター・頭頸部外科・松木 崇 電話：045—520-2222（施設代表） 利用停止のお申し出は 2025 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります